

2 単元（題材）の目標の考え方

☆「単元（題材）」とは

単元とは、各教科の内容をある程度のまとまりで捉えたものです。学習指導要領の内容から、まとまりを考えると良いでしょう。

また、教科・科目によっては「単元」ではなく「題材」として内容のまとまりを捉えることもあります。

☆「目標に準拠した評価」とは

学習指導要領に示す各教科・科目の目標に基づき、学校が地域や生徒の実態に即して定めた当該教科・科目の目標や内容に照らしてその実現状況を捉えるものです。



単元（題材）の目標を設定する

年間指導計画は、「生徒に身に付けさせたい力」をどのような学習の流れで身に付けさせていくかという計画です。ですから、単元（題材）の目標は、年間の流れを意識した上で、当該の単元（題材）で身に付けさせたい力を示すものです。

単元（題材）の目標を立てる際に、教員の思いや願いのみをつづっていませんか。それも大切にすべきことなのですが、まず、学習指導要領を確認することが重要です。現在、定められている評価は「目標に準拠した評価」ですので、その評価の大元となる目標を設定することが必須条件となります。そして、目標設定の基本は、まずは学習指導要領の「内容」です。我々教員は、この内容を漏れなく指導する必要があります。

単元（題材）の目標の焦点化

単元（題材）の目標とは、その単元（題材）を通して生徒たちにどのような力を身に付けさせたいか示すものです。効果的な指導のためには、一つの単元（題材）にあれこれ詰め込むのではなく、焦点を絞ることが大切です。それを1年間積み重ねることで、最終的に教科・科目の目標を実現させるという視点をもちましょう。

年間指導計画を立てる時点で、カリキュラム・マネジメントの視点を持ち、いつ頃・何を・どのように指導するかについて、教科チーム内で情報共有しておきましょう。生徒の入学から卒業まで、系統だった指導計画を立てることにつながります。

生徒に応じた学習支援を

個別支援が必要な生徒への対応を考えよう

生徒の学習の進捗は、皆同じではありません。生徒が目標をどこまで達成できるかは一人ひとり異なります。

令和3年中教審答申の「個別最適な学び」でも、「教師が支援の必要な子供により重点的な指導を行うことなどで効果的な指導を実現する」「子供一人一人の特性や学習進捗、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行う」という「指導の個別化」が求められています。

一人ひとりにあった無理のない学習支援を考えましょう。

単元（題材）の目標の設定例

地理歴史（地理総合）

「B 国際理解と国際協力（1）生活文化の多様性と国際理解」

〈学習指導要領の内容〉

ア 次のような知識を身に付けること

- (ア) 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解すること。
- (イ) 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解すること。

イ 次のような思考力・判断力・表現力等を身に付けること

- (ア) 世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現すること。



■ 単元名

「生活文化の多様性と国際理解」

■ 単元の目標

- ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が、地形、気候などの自然環境や、歴史的背景や経済発展などの社会環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性を持つことや、それらの地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。
- ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。
- ・世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、「地理的環境を踏まえた生活文化の理解と尊重」などの主題を設定し、「多様な生活文化に配慮して、世界の人々が共存するためにはどのような工夫が必要なのだろうか」などを、多面的・多角的に考察し、表現する。
- ・生活文化の多様性と国際理解について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求しようとする態度を養う。

参考：「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する

参考資料（高等学校）地理歴史」令和3年8月 国立教育政策研究所



ステップアップ課題

- ① 自身が担当している教科・科目を一つ取り上げ、学習指導要領の内容を確認しましょう。
- ② ①に対して、ここまで授業で取り扱ってきた内容に印をつけましょう。
- ③ まだ取り扱っていない内容について、左の例を参考にして
 - ・取り扱う時期
 - ・単元名
 - ・単元の目標を考えましょう。

*左ページに記載の通り、年間を通じて学習指導要領にある全ての内容を指導する必要があります。このような点検作業を実施する機会を年に数回設けておき、調整を図りましょう。

単元（題材）による授業構想

「単元（題材）による授業構想」とは、学習指導要領にある各教科・科目の目標や内容を実現するために、ある程度のまとまりを単元として授業を考えることです。各教科・科目における目標の実現は、1単位時間の授業で達成できるものではありませんから、内容のまとまりを単元として、単元（題材）を通して身に付けさせたい力を構想することが必要です。